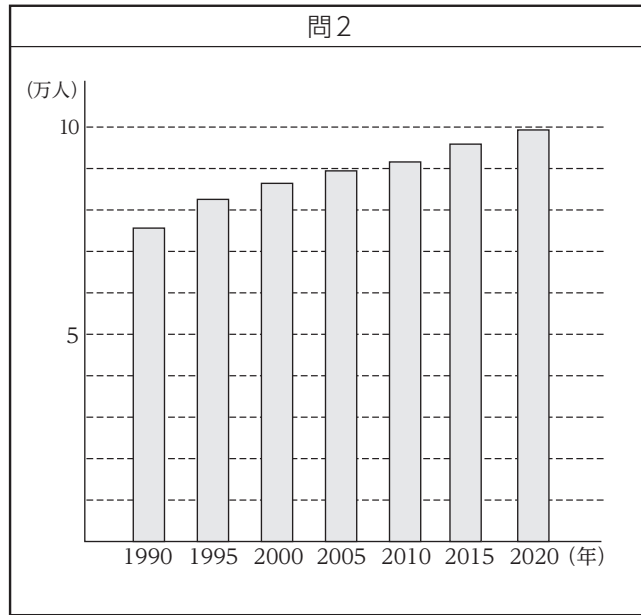


小学4年 思考力テスト — 解答と解説

1

問1
工

21



22

【例】

問3

近くに住む人たちが、飛行機のそう音になやまされる。

23

問4

ア	○	イ	×	ウ	×	エ	○
---	---	---	---	---	---	---	---

24

25

26

27

【例】

問5

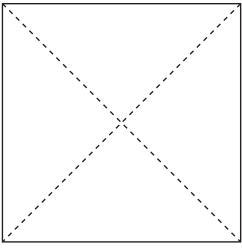
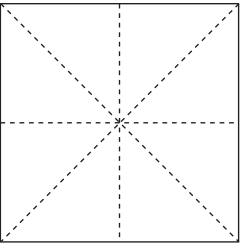
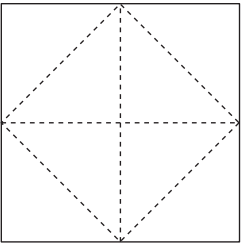
私	は	、	漁	村	で	漁	に	同	行	し	て	み	た	い ¹⁵	。	な	ぜ	な	ら	、
ふ	だ	ん	見	る	こ	と	の	で	き ³⁰	な	い	漁	を	体	験	で	き	る	上	、
漁	業	の	課	題 ⁴⁵	や	そ	れ	に	対	す	る	取	り	組	み	に	強	い	き ⁶⁰	
よ	う	味	が	あ	る	か	ら	だ	。											

75

80

28

2

問1		
(1)	(2)	(3)
		
29	30	31

問2							
(1)	2	通り	(2)	8	通り	(3)	最大
							52
							最小
							3
	32			33			34
							35

(配点)
 ①問4、②問2……各5点×8=40点
 ①問1、②問1……各7点×4=28点
 ①問2、問3……各9点×2=18点
 ①問5……14点
 計100点

【解説】

①

問1 B1 情報を獲得する 比較

ア：那覇市の月平均気温が最も低いのは、1月の17.3℃です。

イ：那覇市では5～6月と8～9月の4ヶ月のみ、月平均降水量が200mmを超えます。

ウ：那覇市で月平均気温が20℃を上回るのは4～11月の8ヶ月、東京で20℃を上回るのが6～9月の4ヶ月です。

エ：10月の降水量は那覇市が179.2mm、東京が234.8mmですので、誤りとなります。

問2 B1 情報を獲得する 置き換え

たて軸が人口数、横軸が年を表していることを確認してグラフをていねいに書きましょう。解答参照。

問3 B1 特徴的な部分に注目する 具体・抽象 推論

普天間飛行場の周辺には人家や学校が密集していることが地形図から読み取れます。そのため普天間飛行場を利用する航空機は市街地の上空を低空で飛行することになり、世界一危険な飛行場ともいわれています。実際にヘリコプターの大学への墜落事故や、小学校への部品落下事故などが起きています。この問題では、①考えられる影響について書かれているかどうか、②①に過不足がなく、表記や表現に誤りがないかどうかを中心に見えています。

問4 B1 情報を獲得する 比較

ア：沖縄県の第2次産業就業者割合は15.4%、全国平均は24.1%です。

イ：【資料4】の都道府県で第1次産業就業者割合が最も高いのは鳥取県ですので、誤りとなります。

ウ：東京都の第3次産業就業者割合は83.7%、全国平均は72.5%ですので、 $83.7 \div 72.5 = 1.154 \dots$ となり、約1.2倍なので誤りです。

エ：【資料4】の都道府県で第2次産業就業者割合が全国平均の24.1%を上回っているのは、愛知県のみです。

問5 C1 特徴的な部分に注目する 情報を獲得する 具体・抽象

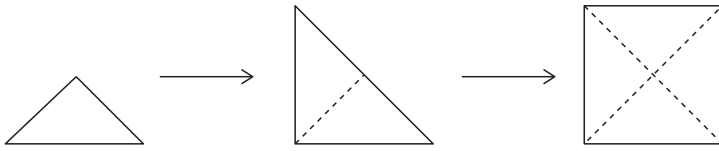
問題文で説明されているグリーンツーリズムの内容を参考にして自分の意見を説明します。農村や漁村でどのような体験ができるか、などから考え始めるとよいでしょう。この問題では、①どのようなことを体験したかが書かれているかどうか、②①の理由が説明されているかどうか、③①②に過不足がなく、文章の整合性に誤りがないかどうか、④ます目の使い方が正しいかどうか、⑤表現や表記に誤りがないかどうか、⑥字数制限を満たしているかどうかを中心に見えています。(ただし、40字以上60字未満の解答については①～③のみ採点対象とし、④～⑥は採点対象としません。また、40字に満たない解答は①～⑥すべて採点対象としません。)

②

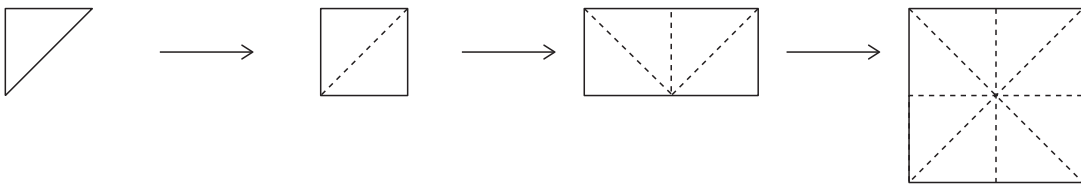
問1 **B1** 特定の状況を仮定する 置き換え

図5～図7から図1のおり紙までもどりながら、おり目がどのようにつくかを調べます。それぞれ次のようになります。

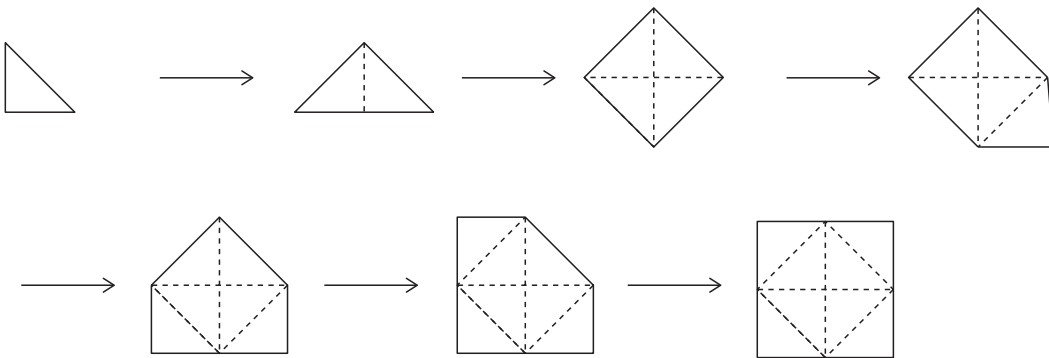
(1)



(2)



(3)



問2 (1) **B1** 情報を獲得する 調べる

1枚^{まい}だけで作業が止まるということは、1枚目に3の倍数が出るということです。したがって③、⑥の2通りです。

(2) **B1** 特定の状況を仮定する 調べる

1枚目に3の倍数が出ると2けた目までカードを引けません。また2枚目に3の倍数ではない数が出ると3枚目を引くことになります。したがって1枚目は「①、②、④、⑤」2枚目は「③、⑥」のいずれかをそれぞれ引いた時に2けたの数になります。よって13、16、23、26、43、46、53、56の8通りです。

なお、「①、②、④、⑤」の4通りの後にそれぞれ「③、⑥」の2通りを引く場合なので、 $4 \times 2 = 8$ という計算でも求められます。

(3) **B2** 特定の状況を仮定する 調べる

- ・計算結果が最大となるとき
偶数^{ぐうすう}でも3の倍数でもある⑥を最後に出します。

1番目と2番目には、残る偶数(②、④)を出すか、偶数以外で最も大きい⑤を出してから大きい方の偶数である④を出すことで、計算結果が大きくなると考えられます。

②、④、⑥ : $2 \times 2 = 4$ 、 $4 + 4 = 8$ 、 $8 \times 2 = 16$ 、 $16 + 6 = 22$ 、 $22 \times 2 = 44$

④、②、⑥ : $4 \times 2 = 8$ 、 $8 + 2 = 10$ 、 $10 \times 2 = 20$ 、 $20 + 6 = 26$ 、 $26 \times 2 = 52$

⑤、④、⑥ : $5 + 4 = 9$ 、 $9 \times 2 = 18$ 、 $18 + 6 = 24$ 、 $24 \times 2 = 48$

よって、計算結果が最大となるのは、④、②、⑥と引いたときの52です。

・計算結果が最小となるとき

1枚目に3の倍数が出ればよいので、3の倍数のうちより小さく偶数でもない③を出します。このときの計算結果は3です。